

「さくら市こども計画（案）」に関するパブリック・コメントの結果

- ◇ 意見等の募集期間：令和8年2月14日（土）～令和8年3月13日（金）
- ◇ 意見等の受付件数：3人 6件
（提出方法の内訳：郵送0人 ファクシミリ0人 電子メール2人 持参1人 ）

こども政策課では、令和8年2月14日～令和8年3月13日までの期間、「さくら市こども計画（案）」について、皆様からの意見を募集いたしました。その結果、3人の方から6件のご意見をいただきました。貴重な意見等誠にありがとうございました。

市では、皆様からのご意見に対しまして、次のような考え方をまとめましたので、公表いたします。

1. 提出された意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載しています。

(1) 「子育て世帯の経済負担軽減と放課後児童クラブ支援拡充」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>給食費無償化など、現行施策に対する市の取り組みには感謝の意を表したい。一方で、物価高騰により「副教材費」「学用品代」「部活動の遠征費や用具代」などの隠れた教育費が家計を圧迫している。</p> <p>特に共働き世帯では、放課後児童クラブの利用料が生活費の重荷になっているため、所得に応じた細やかな料金設定や第2子以降・多子世帯へのさらなる減免措置を求める。</p> <p>あわせて、制服や学用品のリユースバンク活用促進（譲渡会の定期開催等）といった実質的な負担を最小限に抑えるための多角的支援の検討を求める。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>頂戴したご意見を踏まえ、各家庭の実情に即した具体策の検討、及び多角的な支援策の模索を引き続き進めてまいります。</p> <p>なお、放課後児童クラブの利用料について、令和8年度から第2子以降減免事業を開始予定です。今後も子育て世帯の経済的負担を軽減し、多子世帯でも安心して働きながら子どもを産み育てられる環境を整備してまいります。</p>

(2) 「文化・学習版スポーツ教室の創設」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>現行の「スポーツ教室」は低額で多様な競技体験ができる優れた施策である。これをモデルケースとして、プログラミング、英会話、アート、科学実験、伝統文化などの文化・学習分野へ展開することで、子どもたちが安価に様々な「学びの入口」に触れる機会を提供し、興味を持った子どもたちが民間塾や習い事へ進むことにより、地域経済の活性化にも寄与する効果が期待できると考える。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、でまえ学び塾や課外スクール～さくら未来塾～、伝統文化こども教室などを通じ、子どもたちに様々な学びの機会を提供しています。</p> <p>今後もニーズや社会状況等を踏まえ、より多様な内容の体験を提供できるよう務めるとともに、地域の民間団体等との連携を図り、子どもたちの「学びの入口」がより充実するよう事業を展開してまいります。</p>

(3) 「小学校高学年から中高生向けの居場所の整備」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>既存の児童館や公園は幼児や低学年向けに偏っており、高学年～中高生が安心して集える場所が不足している。</p> <p>具体的には、放課後や休日に利用可能な「目的がなくても集まれる場」や、Wi-Fi環境が整った静かな自習スペースなど、世代のニーズにあった機能を備えた居場所の整備を求める。</p> <p>既存の公民館や空き公共施設の柔軟な運用(例:夕方から夜間の専用利用など)も検討してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>現在、氏家公民館においては、FreeWi-Fiの環境も整っており、夏季及び冬季の期間を限ってはありますが、中高生向けの学習スペースとして研修室を開放する取り組みを行っております。今後、より利用しやすい空間となるよう検討を行ってまいります。</p> <p>また、既存の公民館や公共施設を柔軟に活用するなど、高学年・中高生向けのニーズに合わせた居場所の整備方法について、関係部署と協議してまいります。</p> <p>なお、令和8年度には、旧南小学童保育センターを改修し、児童センターとしてリニューアルする予定です。大型遊具や中高生もくつろぐことのできるスペースの設置のほか、Wi-Fi環境なども整備予定です。</p>

(4) 「安心して遊べて雨天時も過ごせる複合施設の整備」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>既存の施設では物足りず、他市町村に比べあそび場の魅力が薄いと感じる。</p> <p>他市のように、図書館や公民館的要素を含め、保育士が常駐する複合施設があれば、市に対して満足度が上がると思うので、設置を検討してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>極端な気象状況が観測される昨今、子どもたちが安全で快適に遊び、学び、他の子どもやその家庭と交流できる場を提供することは、子育て家庭支援に必要であると認識しています。</p> <p>しかしながら、場所や規模、さらにどのような機能を付与するかにもよりますが、整備・運営方法、それら経費の財源の確保など中長期的な取り組みが必要になります。他自治体の事例などを参考にしながら調査・研究を行ってまいります。</p>

(5) 「上松山小学校周辺を含む通学路の安全対策の強化」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>施策や居場所が充実していても通学路の安全が確保されなければ意味がない。</p> <p>特に上松山小学校周辺の通学路は歩道が狭く、危険な箇所が点在している。ふれあい保育園前から国道4号への抜け道は、車両の通行やスピード出しが目立ち、旗振りボランティアからも安全面での懸念が上がっている。</p> <p>注意喚起の看板設置だけでなく、カラー舗装、物理的なスピード抑制策（ハンプや狭さくの設置）など、実効性のある安全対策を最優先で実施してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>通学路の安全確保については、関係機関で実施する合同点検などを通じ、地域の実情に沿った施策を検討するなど、実施に向け関係部署と調整を進めます。</p>

(6) 「さくら市子ども会議」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>子どもたち自身が地域や広い社会（さくら市、栃木県、日本、さらには世界）について考え、意見を交わせる場を提供する意義は大きい。</p> <p>会議を通じ、子どもたちの意見や考えを、具体的な形として実現できる機会を提供することは、大人が子どもたちの思いに真剣に心を向けて大切にしている証である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、子ども基本法や子ども大綱の主旨を踏まえ、子ども目線に立ち、子どもとの対話を通じて何が必要かを探りながら、各種施策に取り組んでまいります。</p> <p>子ども会議を通じた子どもたちとの連携は、将来の市政にとっても重要な意見交換の場と位置づけ、継続的な運営をしていく予定です。</p>

◇問い合わせ先：健康福祉部子ども政策課

TEL：028-681-1125

FAX：028-681-1482

電子メール：kodomom@city.tochigi-sakura.lg.jp